

日本証券新聞社 主催

個人投資家向けセミナー



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード:3386)

2012年6月14日

www.cosmobio.co.jp

JASDAQ
Listed Company 3386

目次



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

1. 会社概要 p. 3
2. 事業内容と特徴 p. 8
3. ライフサイエンス研究市場 p.20
4. 2012年の取り組み p.23
5. 決算概要 p.32

1. 会社概要

www.cosmobio.co.jp

3

会社概要



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

社名:	コスモ・バイオ株式会社
業種:	卸売業
上場市場:	大阪証券取引所JASDAQスタンダード
証券コード:	3386
本社所在地:	東京都江東区東陽二丁目2番20号
代表者:	代表取締役社長 笠松 敏明
設立:	1983年8月25日
事業内容:	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、 臨床検査薬の輸出入および国内販売
資本金:	918百万円
事業年度:	1月1日から12月31日まで
従業員数:	連結:118名 個別:79名 (2011年12月31日現在)
連結子会社:	株式会社プライマリーセル ビーエム機器株式会社
非連結子会社:	Cosmo Bio USA, Inc.



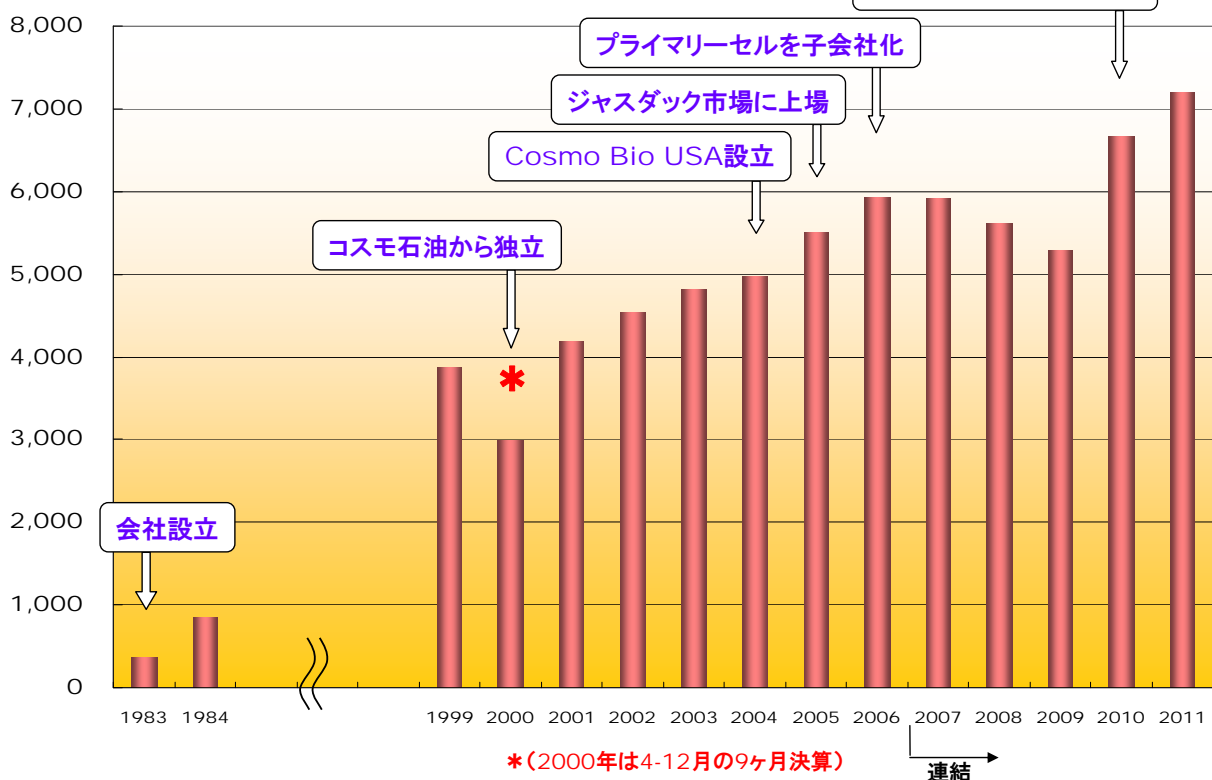
4

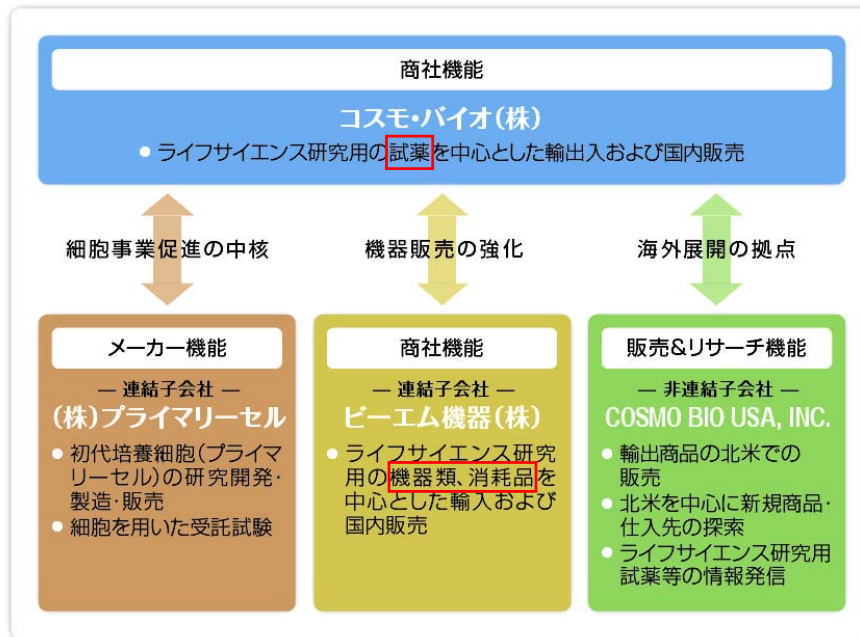
ライフサイエンス研究を支援する専門商社



当社の歩み

売上高(百万円)





- 研究活動に必要不可欠な『試薬』と『機器』の両面からライフサイエンス研究を支援
- 商社機能にメーカー機能を一部複合させ、安定的な事業拡大を推進

2. 事業内容と特徴

ライフサイエンス研究



とても広い範囲で 様々なライフサイエンス研究が行われています

- ライフサイエンス研究は...
医療分野だけでなく、私たちの生活を支える経済や社会の発展にも大きく役立っています。
- ライフサイエンス研究は...
豊かな生活のために、なくてはならない研究です。

コスモ・バイオグループは
研究に必要な
**薬品(=試薬)や
実験道具(=機器、
器材)**を
世界各国から種類豊富に
取り揃えて、ライフサイエ
ンス研究を支援しています。

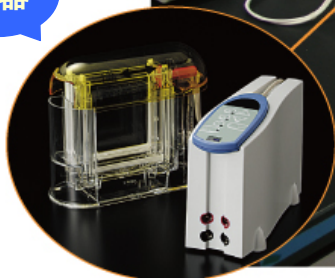
取扱商品の一例

試薬



培地、緩衝液など

機器



小型実験機器

試薬



キット(試薬セット)

試薬

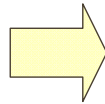


抗体・生理活性物質など

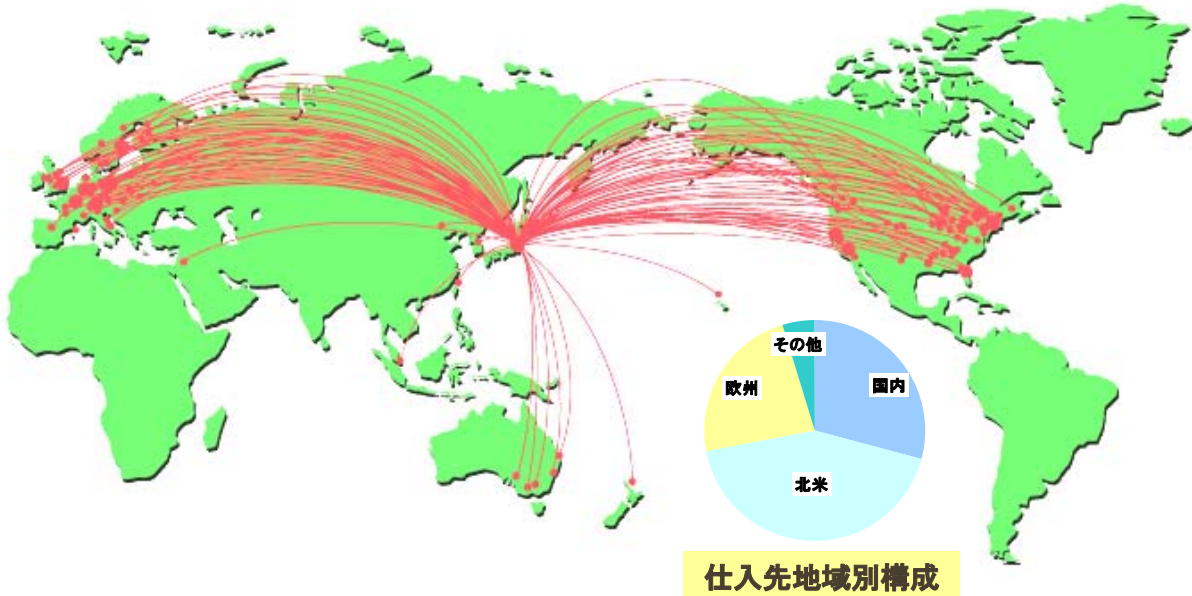
試薬・機器の一例をブースで展示・紹介しています

特徴：国際ネットワークを活用した商品仕入れ

世界中の約**600**社の仕入先



約**200万**の品揃え



約200万品の豊富な品揃え

豊富な品揃え、
その理由は？



- 膨大な基礎研究&ひとりひとり異なる実験
- 核酸やタンパク質などの膨大な生体試料を材料とした多種多様な試薬
- 多様な生命現象を研究するための様々な視点からのアプローチ

商品がたくさん
あると・・・



- とりあえずコスモで探せば何でもある
(第一に選んでいただける)
- 「こんな試薬もあったんだ」
→じゃあ、こういう実験もできる！
(新たなインスピレーション)
- 万が一お求めの商品がご提供できない場合にも、類似の代替品があり、研究活動をサポート

とりあえずコスモに聞けば何でもある

なければ探してくれるし

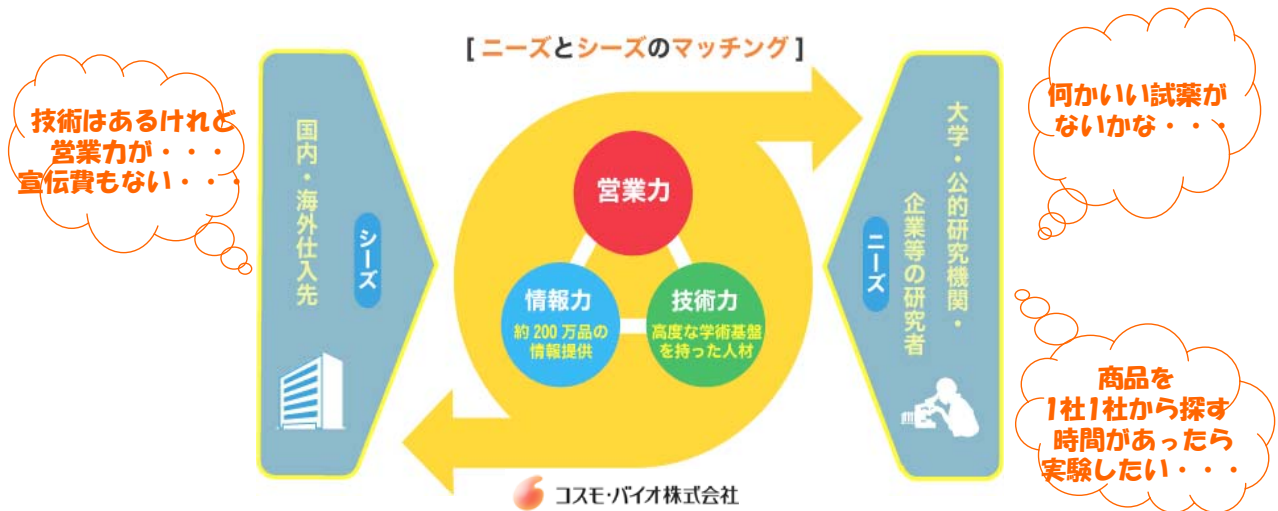
なければ作ってくれる



コスモ・バイオにお任せください！

膨大な商品・情報(シーズ)と 多様なユーザーニーズのマッチング

- 仕入先が持つ優れた最先端商品(シーズ)を導入し、各種プロモーションツールやデータベースにより、専門性の高いサービス・情報を研究者へ提供
- 研究者が求める専門的で高度なニーズに対応するために
⇒ 専門性の高い人材とノウハウを蓄積し、膨大な商品情報(シーズ)と多様なニーズのマッチングに努め、研究活動をバックアップ



営業活動体制

1 日本全国を約200拠点の
代理店ネットワークでカバー

2 専門知識を持った学術スタッフ
による販売支援活動

3 営業活動をサポートする各種商品情報提供ツール



品名	規格	単価	在庫	発注単位
Anti-EGF-1, glycofree, Type3	100ug/1000ul	100000	10000	10000
Anti-EGF-1, glycofree, Type3	100ug/1000ul	100000	10000	10000
Anti-EGF-1, glycofree, Type3	100ug/1000ul	100000	10000	10000



ニュースレター



各種カタログ

ホームページ/商品検索システム

商品の保管・管理

オフィスと同一ビルの1階に配送センターを設置しています

【保管場所】下記の他に、-70℃、液体窒素の保管場所もあります



-20℃



4℃



室温

【入荷・出荷場所】



適切な温度管理を必要とされる商品がほとんど。

適切な在庫設定や保管により、研究者に高品質な商品を迅速にお届けします。

ライフサイエンス研究とユーザー層



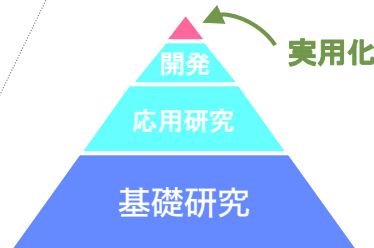
① 幅広いライフサイエンス研究分野

それぞれの分野に
対して...

③ 各研究ステップの研究機関



② 研究ステップのサイズ



それぞれのステップを
担うのは...

基礎研究ってどんなもの？

例1)新薬の探索から実用化へ

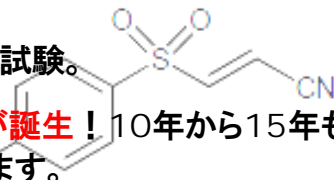
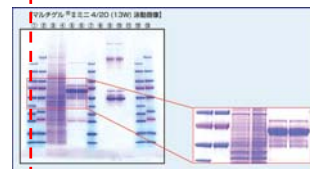
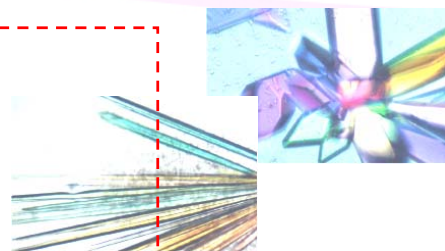
基礎研究

応用研究

開発

実用化

- 新薬の候補はあらゆるところに！
 - 土の中の微生物
 - 天然化合物
 - 合成化合物
 - 動物、植物
 - ...
- 何万種類の候補の中から一つ一つ取り出し、条件を変えて実験を繰り返し、薬としての効果があるものを選別。
- 選別した物質の分子構造を調べる。
- 薬として使いやすくするために水に溶けやすくするなどの実験を繰り返す。
- 安全に使える薬かどうかを試験。
- そうしてようやく一つの薬が誕生！10年から15年もかけて研究が行われています。



基礎研究ってどんなもの？

例2)医療・創薬への展開を目指したiPS細胞研究

基礎研究

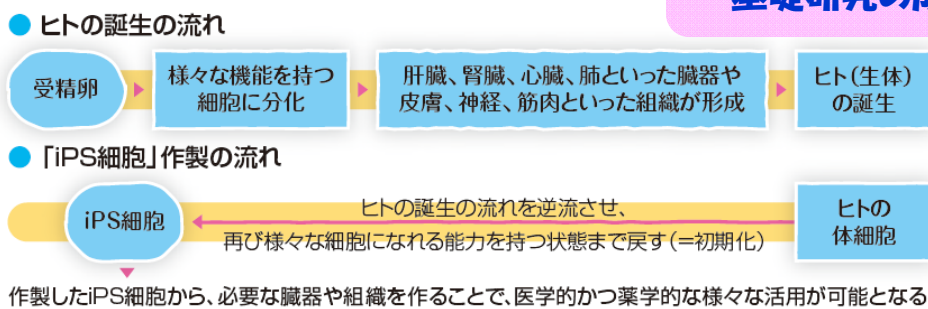
応用研究

開発

実用化

iPS細胞の樹立(2006年マウス、2007年ヒト)

→ 世紀の大発見！
基礎研究の成果



- ・ どの部分の体細胞からiPS細胞を作るか
- ・ 体細胞からどのように操作してiPS細胞を作るか
- ・ 作ったiPS細胞が長期間安定した品質を保てるか
- ・

iPS細胞の利用方法

- ・ 薬の安全性と効果の評価
- ・ 発病メカニズムの解明と治療法の開発
- ・ 疾患組織を再生させる医療技術



基礎研究ってどんなもの？ 例3)マイクロRNA研究 ～新たながん治療・診断へ向けて

基礎研究

応用研究

開発

実用化



からだのなかに存在する「マイクロRNA」という分子が発見され、この分子ががんをはじめさまざまな疾患の診断や治療に使えるのではと、近年精力的に基礎研究が進められています。

特集：「がん」の克服に向けた基礎研究の躍進

マイクロRNAの研究により、かつては治療が困難だったがんの克服がめどを掴んできました。その功績、今回は特別に紹介して「がん」の克服と診断の両面にスポットライトを当ててマイクロRNAの最新研究の状況をご紹介します。

現代人にとって「がん」は身近な病気だけど、そもそも「がん」って何？治療法は？

「がん(悪性腫瘍)」は、遺伝子の異常によって起こる病気で、社会の発展に伴ってがん患者数は今後も増加していくと予想されています。そのため、がんの克服に共同に大きな社会的課題があります。

がん治療には、癌に特化した薬理、免疫などの治療があります。手術療法と放射線療法は局所的な治療法です。そのため、完治にはなかなかには治療しきれない部分があります。また、完治に必要な薬価が高額になることが多く、患者の生活に大きな負担をかける部分があります。

最先端研究によって、がん治療はどう進歩しているの？

がん克服に欠かせないのが治療法の改良、それだけでなく予防や診断も進歩しています。多くの研究が日々積み重ねられています。そのうち、がんの克服につながる研究が注目されています。

がん克服には、治療だけでなく予防や診断も重要です。がん克服には、治療だけでなく予防や診断も重要です。がん克服には、治療だけでなく予防や診断も重要です。

がん克服に向けた基礎研究の最新動向

① がん克服に向けた基礎研究の最新動向	② がん克服に向けた基礎研究の最新動向
③ がん克服に向けた基礎研究の最新動向	④ がん克服に向けた基礎研究の最新動向

がん克服に向けた基礎研究の最新動向

がん克服に向けた基礎研究の最新動向について、日本国内の主要な研究機関、企業、大学などの取り組みをご紹介します。

① がん克服に向けた基礎研究の最新動向	② がん克服に向けた基礎研究の最新動向
③ がん克服に向けた基礎研究の最新動向	④ がん克服に向けた基礎研究の最新動向

① がん克服に向けた基礎研究の最新動向

② がん克服に向けた基礎研究の最新動向

③ がん克服に向けた基礎研究の最新動向

④ がん克服に向けた基礎研究の最新動向

マイクロRNAの発見で、がんの治療と診断に全く新しい可能性が見えてきたって本当？

「マイクロRNA」を利用した、がんの治療と診断

● 遺伝子を制御できれば、がんの進行は抑制可能。

癌の抑制や促進には、遺伝子の発現によって決まると考えられています。そのため、遺伝子の発現を抑制する「マイクロRNA」が発見され、研究が進んでいます。がん克服の鍵は、がんの発現を抑制することにあります。がん克服の鍵は、がんの発現を抑制することにあります。

● がん克服のための治療法として、マイクロRNAを利用した治療法が開発されています。がん克服のための治療法として、マイクロRNAを利用した治療法が開発されています。

マイクロRNAの発見で、がんの治療と診断に全く新しい可能性が見えてきたって本当？

マイクロRNAの発見で、がんの治療と診断に全く新しい可能性が見えてきたって本当？

マイクロRNAの発見で、がんの治療と診断に全く新しい可能性が見えてきたって本当？

マイクロRNAの発見で、がんの治療と診断に全く新しい可能性が見えてきたって本当？

【お手元の株主通信 4～5ページをご参考ください】

3. ライフサイエンス研究市場

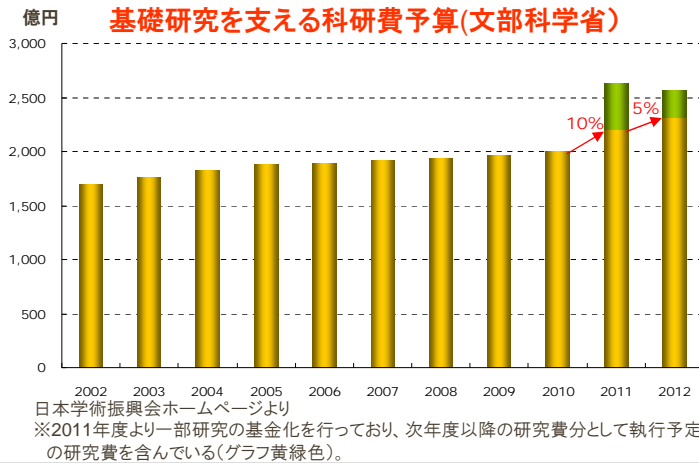
ライフサイエンス研究の市場環境

大学・公的研究機関

- 政府(文部科学省、厚生労働省、農林水産省など)のバイオ研究開発予算は、財政再建のため公的予算の見直しが続くなか、基礎研究を支える科研費は重点配分。

企業

- 一定の需要はあるものの、研究開発費の抑制傾向があり市場は微増から横ばい傾向が継続。

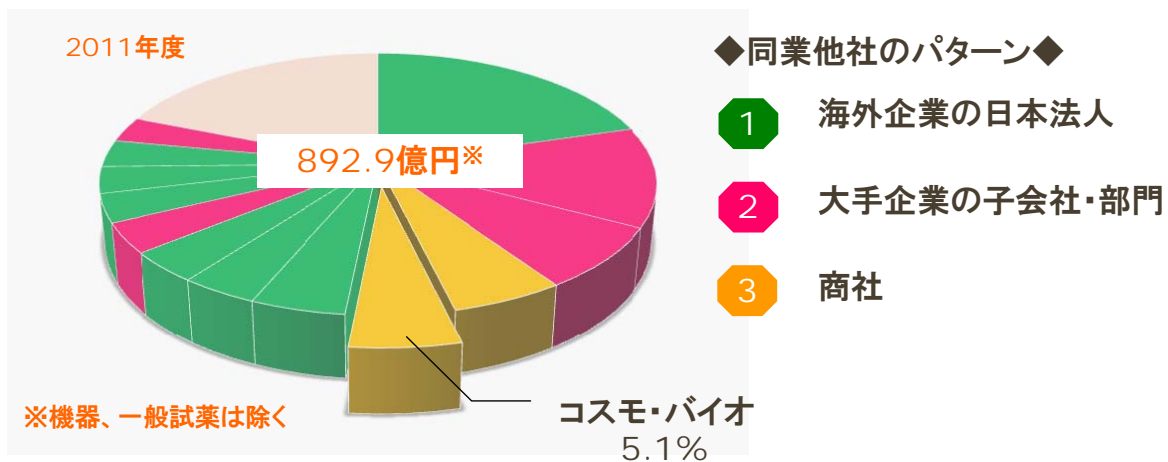


2011年度の科研費は、単年度で大幅増額し、また2011年度より、研究費の複数年度基金化が開始。

2012年度は、2011年度を上回る予算となり、研究活動に追い風。

ライフサイエンス研究用試薬の市場と同業会社

生化学(ライフサイエンス)研究用試薬の市場規模



出典: 矢野経済研究所『生化学向け研究用試薬に関する市場動向調査 2012年度版』

コスモ・バイオは、国際的なネットワークと豊富な品揃え・情報提供力を生かし、信頼される質の高いサービスを提供することで、売上・シェアを伸ばしていきます

4. 2012年の取り組み

www.cosmobio.co.jp

23

2011年からの取り組み

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

活力ある成長企業を目指す

ビジョン

- 第一に選ばれる研究開発支援の会社
- 世界のライフサイエンス研究に貢献
- 多角的な事業基盤の強化

<取り組み>

1. 事業規模の拡大
 - 売上アップ・シェアアップ
 - 有望分野への集中
 - 海外展開の推進
2. コーポレートブランドの高揚
 - ライフサイエンス研究支援で最も信頼される企業
 - 誇れる会社
 - 自社品の充実
3. ビジネスの多角化
 - 周辺の新規ビジネスの探索
 - 仕入先と連携したビジネス展開
4. 経営の効率化・合理化
 - グループ内の業務効率化
 - 仕入、販売、物流 —

第一に選んでいただける会社を目指した営業活動

商品力

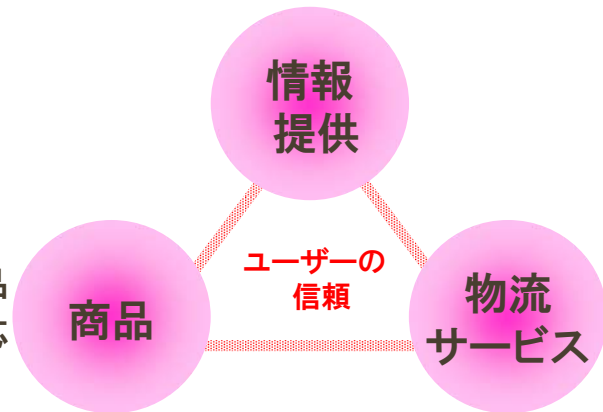
- 日々進歩する研究の動向をつかみ、常に先端商品を導入
- 200万品以上の豊富な品揃え
- 新商品をいち早く紹介

情報提供力

- きめ細やかな商品・技術情報提供
- 国内法規制に対応した情報提供

物流サービス

- 適切な在庫管理と迅速・確実な納品
- ユーザー・代理店への責任ある対応



新商品検索システムの機能・運用強化

- 2011年末 Web上での商品検索システムをリニューアル
- 2012年は 商品情報の整備・充実 検索機能の徹底強化 を一層推進します

200万品の品揃え
(仕入先600社)



有望分野への注力

細胞関連分野

- 共同研究開発
- 自社ブランド商品開発
- 初代細胞を用いた受託解析サービス
- iPS細胞研究支援
- セルベースアッセイ試薬の充実



コスモ・バイオ

連携

プライマリーセル

大学・企業等の研究機関



RNA関連分野

- 品揃えを充実し、自社ブランド商品も開発
- 新規受託試験サービスを開始



創薬支援分野

- 対面型提案営業による研究者へのアプローチ
- 仕入先との緊密な連携による顧客サポート



海外販売網の拡充加速

- アジア・ヨーロッパの販売代理店網を強化
(2011年12月末時点で15社)
→ 今後更に既存代理店との関係強化および新規代理店の起用により代理店網を拡充する)

2013年末までに30代理店へ

- 米州の市場開拓を強化
 - Cosmo Bio USAを米国市場開拓の拠点とし、また世界に向けた情報発信拠点に
- 効果的な販売促進活動
 - Cosmo Bio USAと連携した売上拡大
 - Web、Eメール等を活用した効果的なプロモーション活動



タンパク質合成キット
PURESYSYSTEM®



細胞染色用蛍光色素 POLARIC™

コーポレートブランドの高揚 ～自社商品の充実

《最近の開発例》

技術

定温輸送容器

海外から生細胞を入手したいという声に応え、開発しました。

これまで国内でできなかった実験が可能に。

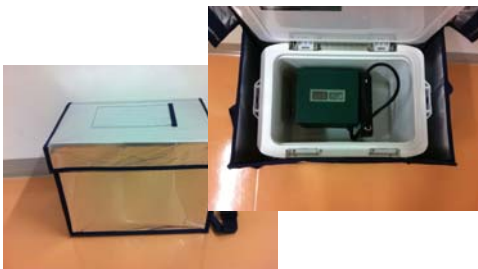
2011年10月使用開始

海外からの入手など長時間輸送が必要な場合は、細胞をいったん凍結させて運びますが、細胞によっては、凍結することで品質が低下してしまいます。

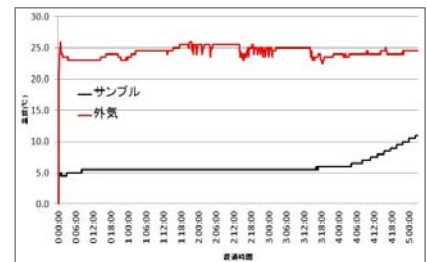
たとえばいったん凍結すると、再び解凍しても・・・

- ◆心筋細胞 ----- 細胞の拍動が弱くなる
- ◆肝細胞 ----- 酵素量に変化し、主要な機能を失う
- ◆膵島 ----- 血糖値上昇に伴うインスリン放出がなくなる

定温輸送容器と専用培地の利用で、最適温度に合わせて一定温度で輸送ができるようになりました。



最大7日程度温度保持が可能のため、海外からの輸入にも十分対応可能。



4日間以上5°C±1°C維持

コーポレートブランドの高揚 ～自社商品の充実

《最近の開発例》

商品

糖代謝測定キット

糖尿病や肥満などの治療研究に欠かせない、糖代謝測定。

世界で唯一の、放射性物質を使わない安全・簡便なキットを開発しました。

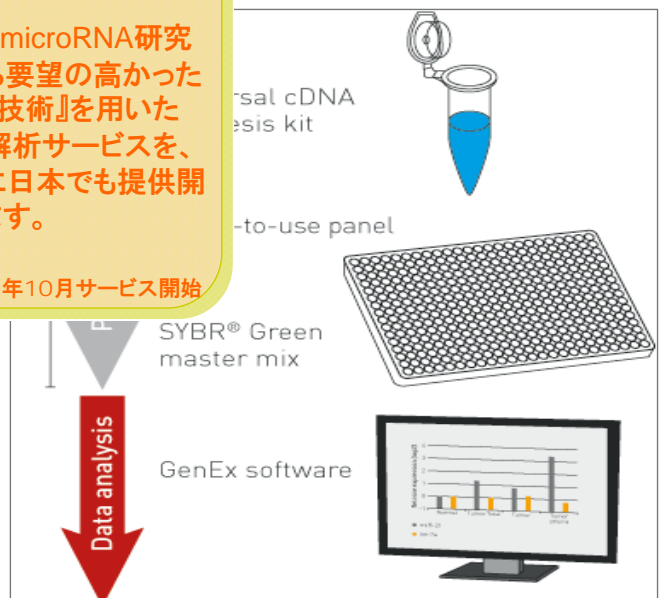
2011年1月販売開始

サービス

microRNAの定量PCR受託解析

多くのmicroRNA研究者から要望の高かった『LNA技術』を用いた受託解析サービスを、ついに日本でも提供開始します。

2011年10月サービス開始



社会貢献活動

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界の化学・生物実験～DNA鑑定』
和歌山工業高等専門学校

『細胞内構造の観察とがん研究への応用』
愛知県がんセンター研究所

【昨年度に開催された講座の一例】

米国科学振興協会(AAAS)が発行する研究者のためのオンラインジャーナル“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています

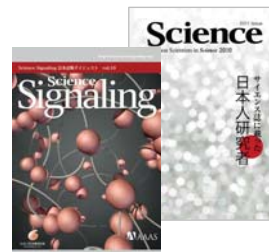
『iGEM生物ロボットコンテスト』

参加日本チームへの支援

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています



『Science Signaling』



5. 決算概要

2011年12月期の連結業績ハイライト

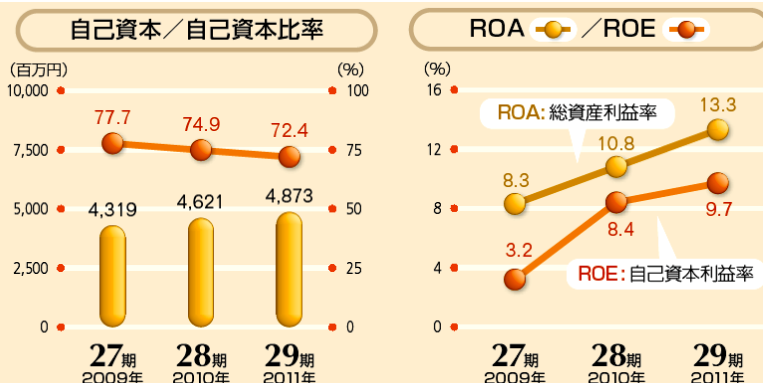
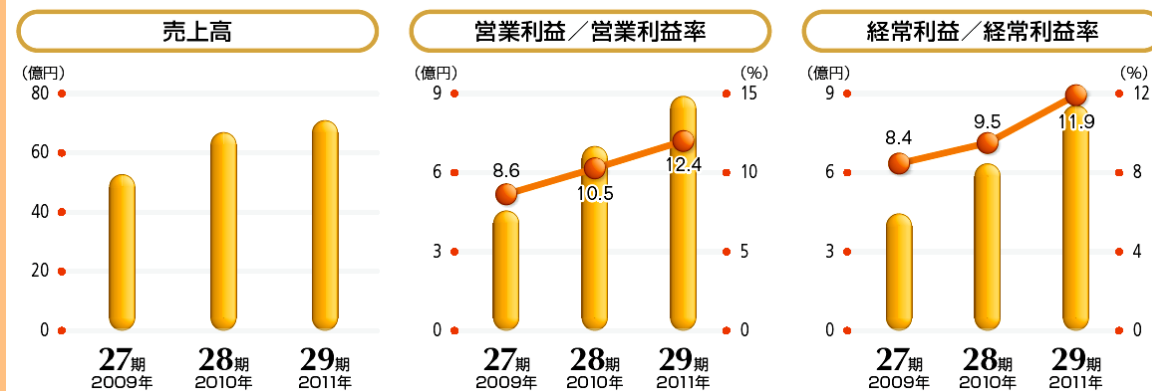
(単位:百万円)

	2010年12月期	2011年12月期	増減率(%)
売上高	6,676	7,192	7.7%
営業利益	701	891	27.1%
経常利益	635	856	34.6%
当期純利益	373	458	22.8%

	2010年12月末	2011年12月末	増減額
総資産	6,170	6,734	564
純資産	5,057	5,343	286

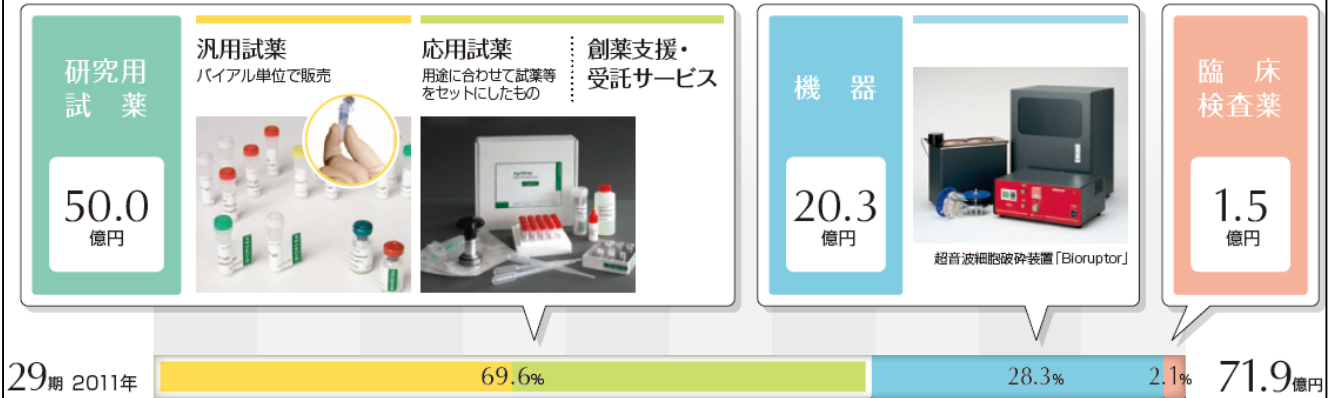
- ・ 2011年からビーエム機器の業績が年度を通して寄与したことにより、売上高、資産ともに増加しました。
- ・ 円高傾向が続いたことによる利益が増加しました。

業績推移



主な商品の分類と売上構成(連結)

2011年12月期の商品分類別売上構成



2012年12月期 第1四半期の連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	2011年12月期 第1四半期	2012年12月期 第1四半期	増減率(%)
売上高	2,137	2,195	2.7%
営業利益	432	442	2.4%
経常利益	416	433	4.1%
四半期純利益	216	226	4.3%

	2011年12月末	2012年3月末	増減額
総資産	6,734	6,810	75
純資産	5,343	5,542	199

- ・ 当期(2012年12月期)の平均為替レート予想83円/ドルに対し、当第1四半期は平均78円/ドルで推移しました。

2012年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

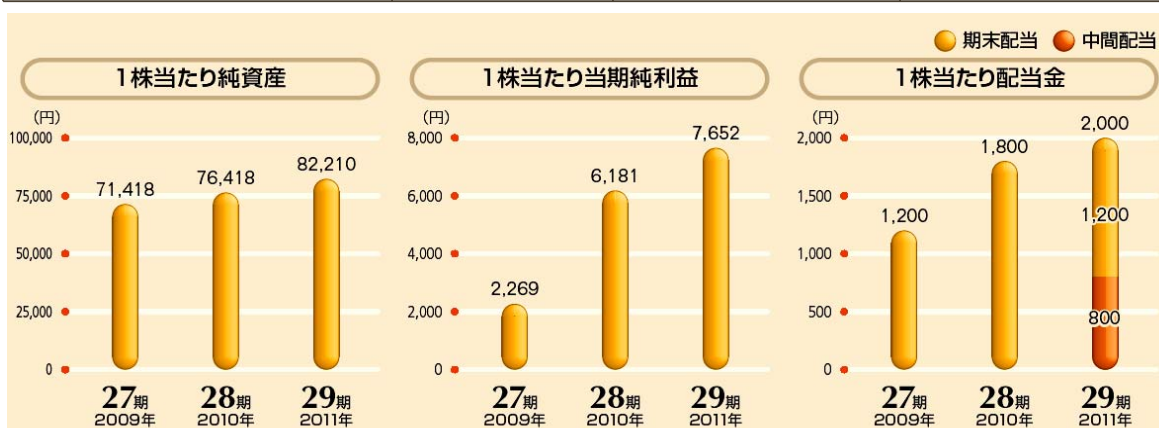
	10/12月期 実績	11/12月期 実績	12/12月期 予想	対前年比	
				増減額	増減率
売上高	6,676	7,192	7,400	207	2.9%
営業利益	701	891	775	△115	△13.0%
経常利益	635	856	823	△32	△3.8%
純利益	373	458	480	22	4.8%
売上高経常利益率	9.5%	11.9%	11.1%	—	—

平均為替レート	10/12月期	11/12月期	12/12月期 (予想)
円/USドル	88円	79円	83円

- ・ 今期は増収減益を見込んでおりますが、これは、前期の平均為替レートが79円/ドルだったのに対し、今期は83円/ドルを見込んでいること、また積極的な販促活動を計画していることに因るものです。

配当について

	1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
2012年 12月期(予想)	800円	1,200円	2,000円
2011年 12月期	800円	1,200円	2,000円
2010年 12月期	0円	1,800円 (うち普通配当 1,200円) (うち記念配当 600円)	1,800円
2009年 12月期	0円	1,200円	1,200円



- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 経営企画室
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>